



9インチポータブル 地デジチューナー内蔵 DVDプレーヤー

CPRM対応

GRAMO-P9F1

取扱説明書

- この度はGRAMO-P9F1をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。ご使用になる前に必ず取扱説明書全編をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。お願いします。
- お読みになったあとは、お問合わせに必要な本製品保証書と購入レシートと共に、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。ご購入後の各種お問合わせに必要になりますので、紛失しないよう大切に保管してください。

目次



はじめに	1
特長	7
ご使用になる前に	7
簡単なご使用方法	7
各部名称	8
電源の接続	9
外部機器との接続.....	10
充電について.....	11
リモコンの使用方法	12-13
リモコンの電池交換の方法	14
DVDの再生	15-18
CDの再生	19
SDカード/USBメモリの使用	20-21
音楽ファイルの再生	22
動画ファイルの再生	23
JPEG画像ファイルの再生	24-25
メディア／ファイルについて	26
機能設定	27-29
地上デジタル放送の視聴	30-36
トラブルシューティング	37-39
製品仕様	41

はじめに

安全上のご注意

- ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■表示の説明







表 示	表 示 の 意 味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

* 1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

* 2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

* 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“  ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“  ”は、注意を示します 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき



煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。













落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。













電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



はじめに

設置されるとき	 警告
風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと 火災・感電の原因となります。	 指示
電源プラグは先に本機に接続してから交流100Vのコンセントに接続し、付属の専用ACアダプターを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外を使用したり、また交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。 DCプラグはDC12Vマイナスアース車専用です。	 指示
ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと 本機が落ちて、けがの原因となります。	 禁止
上に物を置かないこと 金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。	 上載せ禁止
ご使用になるとき	
修理・改造・分解をしないこと 火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。	 分解禁止
ディスプレイなどから異物を入れないこと 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入禁止
雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと 感電の原因となります。	 接触禁止
電源コードは ・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと 火災・感電の原因となります。	 禁止
お手入れについて	
電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き ゴミやほこりをとること 電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。	 指示

はじめに

設置されるとき	 注意
温度の高い場所に置かないこと 直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となりことがあります。また破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。	 禁止
湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
風通しの悪い場所に置かないこと 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 ・壁に押しつけないでください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。	 禁止
移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線を外すこと 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。	 指示
ご使用になるとき	
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。	 引っ張り禁止
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと 感電の原因になります。	 ぬれ手禁止
旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障したとき、火災の原因となりことがあります。	 電源プラグを抜く
ディスクトレイに、手を入れないこと 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 禁止
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。	 禁止

はじめに

ご使用になるとき

注意

電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



リモコンに使用している電池は、

「指定以外の電池を使用しない事」「極性(+)(-)を間違えて挿入しない事」「充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしない事」「電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池をリモコンに入れたまま放置しない事」

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



◎取り扱いに関すること

- 引っ越しなどで移動させるとき、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。長時間で使用していると本機が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないときは必ずディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。
- 長時間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような病状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- よごれがひどいときは、布は水ですすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ペンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

◎日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。

◎結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。○“結露”はこんなときおきます。

- ◇本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - ◇暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
 - ◇夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
 - ◇湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき
- 結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴をとります。またコンセントに接続しておくと“結露（露付き）”が生じにくくなります。

はじめに

◆ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

	マーク (ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク		映像 (動画)+音声	12cm
音楽用CD		音 声	12cm

また、以下のメディアも再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVD-Rディスク
- CPRM/VRモードで地デジ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
- CD-DAフォーマット (音楽用CD) のCD-Rディスク
- MP3、MPEG4またはJPEG形式のファイルが記録されたCD-Rディスク

※上記のディスクであっても、録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合もありますので、予めご了承ください。

※パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合もありますので、予めご了承ください。

※H. 264/MPEG4AVC形式のファイルは非対応です。

※本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式 (PAL、SECAM) 表示のディスクには使用できません。

※DVD±R DLには対応していません。また、MP3等のデータは状況により再生できない場合があります。ファイナライズ未処理のディスクは再生できませんので、ご注意ください。

■CPRMについて

CPRMとはContent Protection for Recordable Mediaの略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクにダビングし再生するには、CPRM対応のディスクと再生機器が必要になります。

■ファイナライズについて

ファイナライズとは、映像をダビングしたディスクと再生機器の互換性を高めるための処理のことです。例えば、映像をダビングしたディスクを再生する場合、そのディスクにダビングをした機器 (DVDレコーダー等) では再生が可能なのに、同じディスクを他の機器で再生しようとするとうディスクエラーとなる場合があります。これは、ダビングを行った機器ではディスクにデータが記録されている場所が認識できるが、それ以外の機器ではデータの場所が分からないために起こる現象です。このような事態を避け、そのディスクに記録したデータを他の機器でも再生可能なデータ配列にするためにファイナライズという処理が必要になります。

はじめに

◆ディスクの取扱いと用語（つづき）

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

トラック：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。

ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクの取り扱いかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

ディスク保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。



- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

特 長

■地上デジタルTV放送視聴機能搭載

低消費電力、簡易な情報処理といった特長の地上デジタル放送の電波を受信して、アナログ放送では得られない映像と文字情報、音声などが楽しめます。満充電後は約2時間の視聴(音量最小時)が可能です。

■AV出力端子搭載

本機で再生したディスクの映像を外部のテレビやモニターに映し出すことができます。

ご使用になる前に

本製品をご使用いただく前に、以下の内容物がすべてそろっていることをご確認ください。万一不足している品があった場合は、お客様サポートセンターへご連絡ください。

プレーヤー本体、リモコン、ACアダプター、AVケーブル、シガーアダプター、マグネット式ケーブルアンテナ、車用ヘッドレストカバー、miniB-CASカード、テレビアンテナ接続ケーブル、取扱説明書(本書)、保証書

※付属のリモコン用電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。(電池はCR2025(3V)のボタン電池を1個使用します)

リモコンは絶縁シートを外してからご使用ください。

※本体を付属のACアダプターで充電してからご使用ください。約4時間の充電でDVDは約3時間の再生、地上デジタル放送は約2時間の視聴(音量最小時)ができます。(地上デジタル放送視聴可能時間は、受信電波環境に左右されます)

簡単なお使用方法

本製品をご購入いただいてからDVDを再生するまでの簡単な手順をご説明いたします。詳細な内容につきましては説明書の各項目をご参照ください。

①電源の接続

本体の電源を接続し、リモコンの絶縁シートを外してください。

②電源スイッチを入にする

本体側面の電源スイッチを入にしてください。

③DVDをセットする

本体のディスクカバーを開け、紙製の保護シートを取り外してからDVDディスクのラベル面を上にしてセットし、ディスクカバーを閉じてください。(ディスクの裏表をよくご確認ください。)

④DVDを再生する

ディスクカバーを閉じるとDVDのタイトル画面が表示されます。タイトル画面が表示されたら、本体またはリモコンの再生ボタン▶||を押すと再生が開始されます。(ディスクによっては、自動的に再生が開始される場合もあります。)

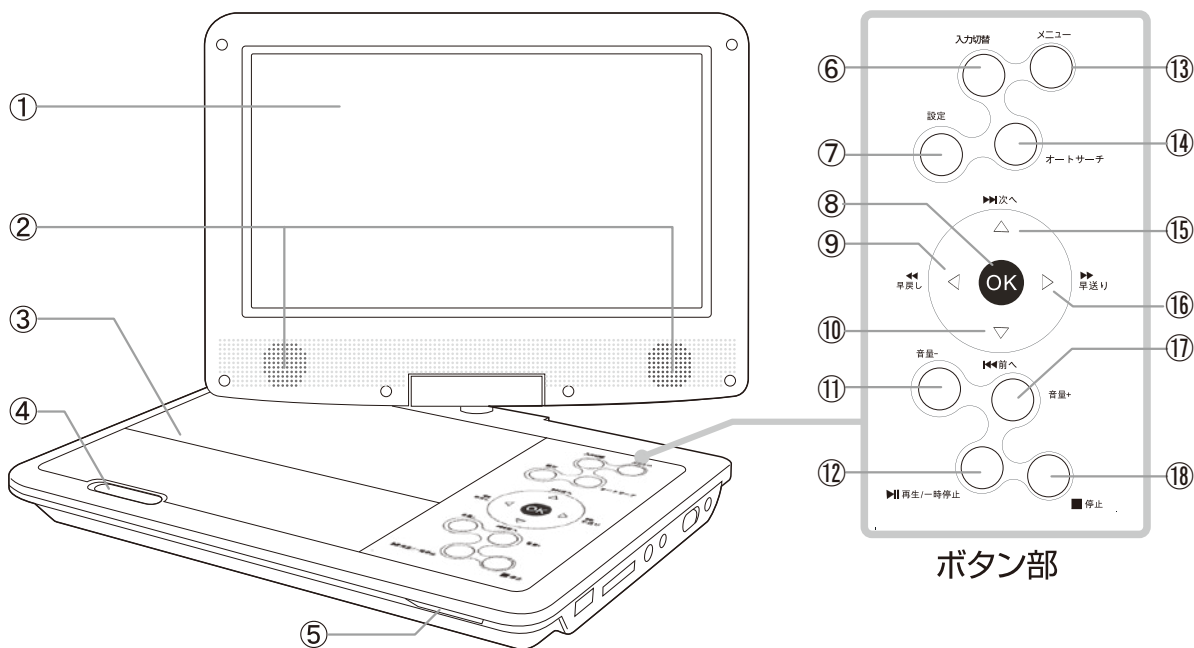
⑤ご使用後

本体スイッチをオフ後に必ずアダプターをはずして下さい。接続したままだと過充電となり、充電地(バッテリー)の寿命を短くするだけでなく、故障や事故の原因になる場合があります。

⑥使用上の注意の確認

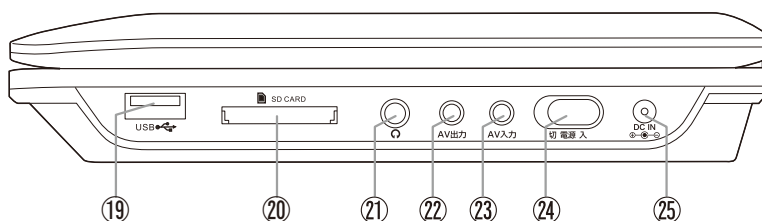
安全にお使いいただくため、本取扱説明書「安全上のご注意」のページをお読みください(1ページ~参照)。

各部名称

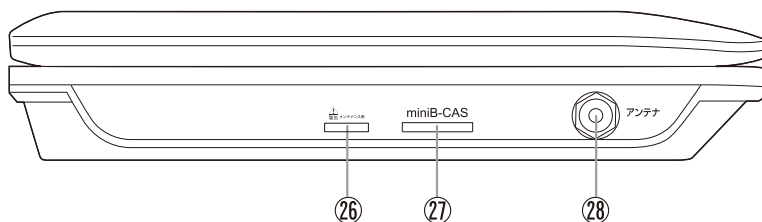


ボタン部

右側面部



左側面部

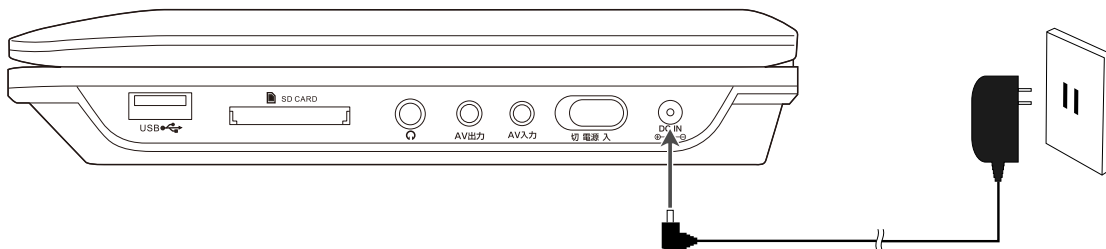


- | | | | |
|---------------------------|-------------------|-------------------|---------------------------|
| ① 液晶モニター | ⑧ 決定 (OK) | ⑮ 方向ボタン上 / 次へスキップ | ⑳ AV出力端子 |
| ② スピーカー | ⑨ 方向ボタン左 / 早戻し | ⑯ 方向ボタン右 / 早送り | ㉑ AV入力端子 |
| ③ ディスクカバー | ⑩ 方向ボタン下 / 前へスキップ | ⑰ 音量+ | ㉒ 電源スイッチ |
| ④ トレイ開ボタン | ⑪ 音量- | ⑱ 停止 | ㉓ 電源端子 |
| ⑤ リモコン受光部 / 充電ランプ / 電源ランプ | ⑫ 再生/一時停止 | ㉑ USB端子 | ㉔ メンテナンス用スロット (通常は使用しません) |
| ⑥ 入力切替 | ⑬ メニュー | ㉒ SDカードスロット | ㉕ miniB-CAS カードスロット |
| ⑦ 設定 | ⑭ オートサーチ | ㉑ ヘッドホン端子 | ㉖ アンテナ端子 |

電源の接続

●ACアダプターの接続

本体側面端子部



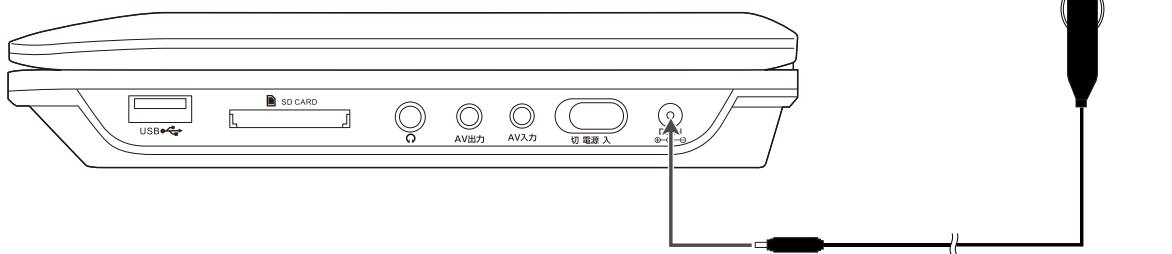
付属のACアダプターを本体右側の電源端子とコンセントに接続します。（上図参照）

⚠️ ご注意ください

- ※電源スイッチが切になっていることを確認してください。
- ※ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。

●車用シガーライターアダプター（付属）の接続

本体側面端子部



付属の車用シガーライターアダプターを本体右側の電源端子と車のシガーソケットに接続します。（上図参照）

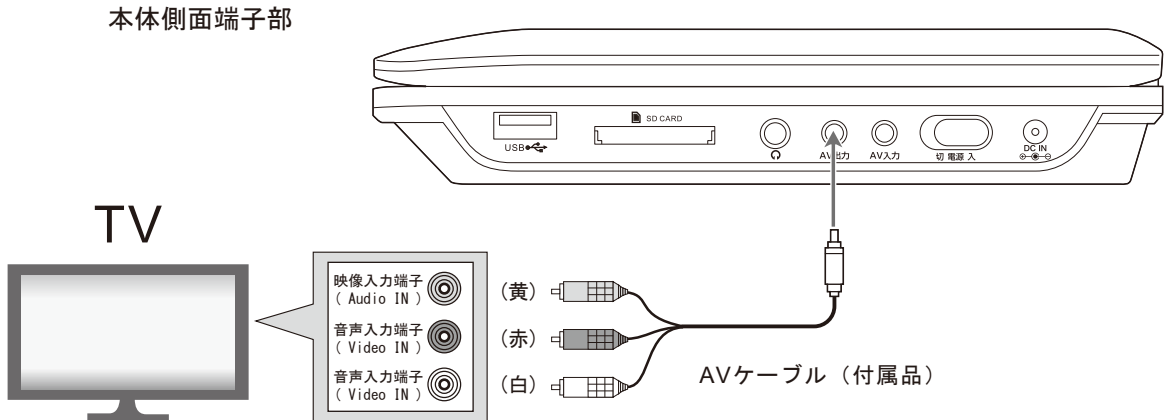
⚠️ ご注意ください

- ※車用シガーライターアダプターを使っての充電はおやめください。
- ※車用シガーライターアダプターは〔12V〕車でのみお使いいただけます。その他の車では絶対に使用しないでください。
- ※車のエンジンをかける前に接続するのはおやめください。故障の原因になります。

外部機器との接続

●テレビとの接続

本機で再生した映像を、外部のテレビ画面で視聴することができます。本体右側のAV出力端子とテレビの入力端子をAVケーブルで接続してください。（下図参照）
テレビ側の設定に関しては、お使いのテレビの取扱説明書をご参照ください。

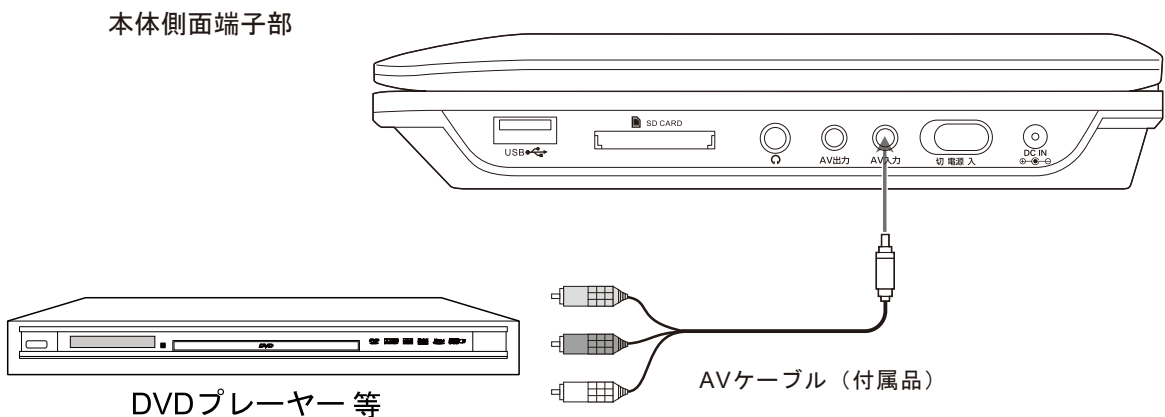


●外部プレーヤーとの接続

外部プレーヤーと本機を接続することによって、外部プレーヤーで再生した映像や音声を、本機のモニターやスピーカーから出力することができます。

※外部プレーヤーで再生したデータを本機から出力する場合、リモコンの機能切替ボタンを押して、外部入力画面に切り換えてください。

※外部入力に切り換えた状態ではDVD/他メディアの再生ができません。本機で再生する場合は機能切替ボタンを押してDVDモードにしてください。

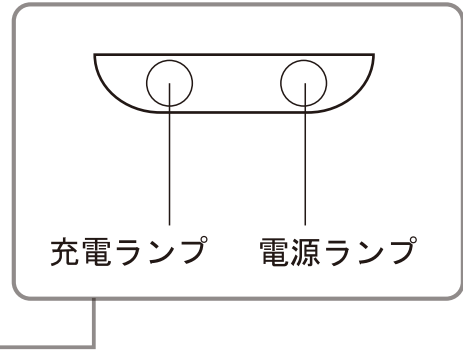
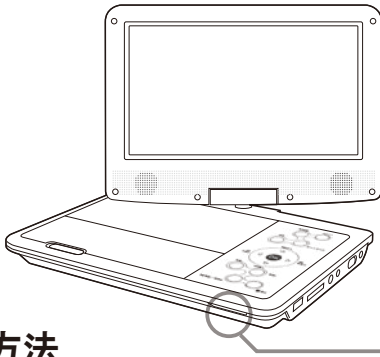


充電について

本機にはリチウムイオン電池が内蔵されており、充電済みであれば電源がない場所でも使用することができます。電源オフ時に空の状態から充電を開始した場合、約4時間でフル充電になります。

DVDは約3時間の再生、地上デジタル放送は約2時間の視聴（音量最小時）が可能です。（地上デジタル放送視聴可能時間は受信電波環境に左右されます）

※音量を最大にする等、条件によっては上記時間より短くなることがあります。また電源がオンになっている状態で充電しますと、満充電まで上記時間よりも長くかかります。



充電方法

1. 電源ボタンをオフにした状態で、付属のACアダプターを本体右側の電源端子とコンセントに接続します。（電源ボタンがオンになっていると電源オフ時よりも満充電まで時間がかかります。）
2. 充電中は本体前面の充電ランプが赤色に点灯します。このランプの点灯が緑色になると充電完了です。

充電と再生時間

- 充電電池は満充電するたびに充電電池自体の充電最大容量が少しずつ少なくなっていくます。充電後の再生時間は、お客様の充電環境と再生回数・再生方法に依存します事をご了承下さい。
- 充電電池の容量が全て無くなってから次の満充電をする事で、充電電池の寿命を長持ちできます。
- 本機は内蔵式充電電池ですので、ご自身での充電電池交換（解体等）は絶対にしないで下さい。

⚠️ ご注意ください

- ※ 充電が完了したら、速やかにACアダプターのプラグをコンセントから外してください。過度の充電は故障や事故の原因となりますので、ご注意ください。
- ※ 電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- ※ ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。
- ※ 車用シガーライターアダプターを使っての充電はおやめください。
- ※ 本DVDプレーヤーは12V車でのみお使いいただけます。その他のお車では絶対に使用しないでください。
- ※ 車のエンジンをかける前に接続するのはおやめください。故障の原因になります。

リモコンの使用方法

①画面切替ボタン

画面モード[4:3/16:9]の切替えを行います。

②入力切替ボタン

ディスク/地デジ放送受信の切替を行います。

③リピートボタン

ディスクの再生中、チャプターやタイトルごとに繰り返し再生します。

④A-Bリピートボタン

再生中任意の箇所を設定し、繰り返し再生します。

⑤プログラムボタン

プログラム再生の設定時に使用します。

⑥ランダムボタン

ランダム再生をします。

⑦クリアボタン

プログラム設定時に使用します。

⑧戻るボタン

前の画面に戻ります。

⑨音声ボタン

音声を切替える時に使用します。

⑩アングルボタン

ディスクの再生中、映像のアングルを切替えます。

⑪表示ボタン/受信CHボタン

再生中のディスクの情報を表示します。
/チャンネルリストを表示します。

⑫メニューボタン/番組表ボタン

再生中に押すとメニューに戻ります。
テレビの番組表を表示します。

⑬方向ボタン

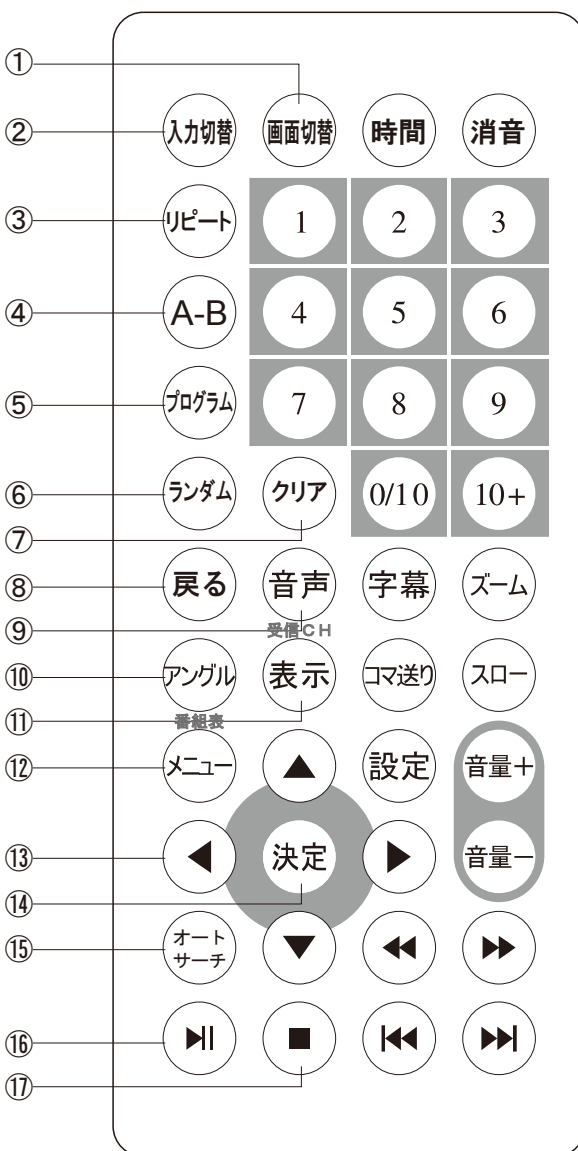
メニュー項目やチャンネル等の選択に使用します。

⑭決定ボタン

各種設定や選択を決定します。

⑮オートサーチボタン

地デジ放送を視聴中に押すと、ご利用地域の放送局を検索します。



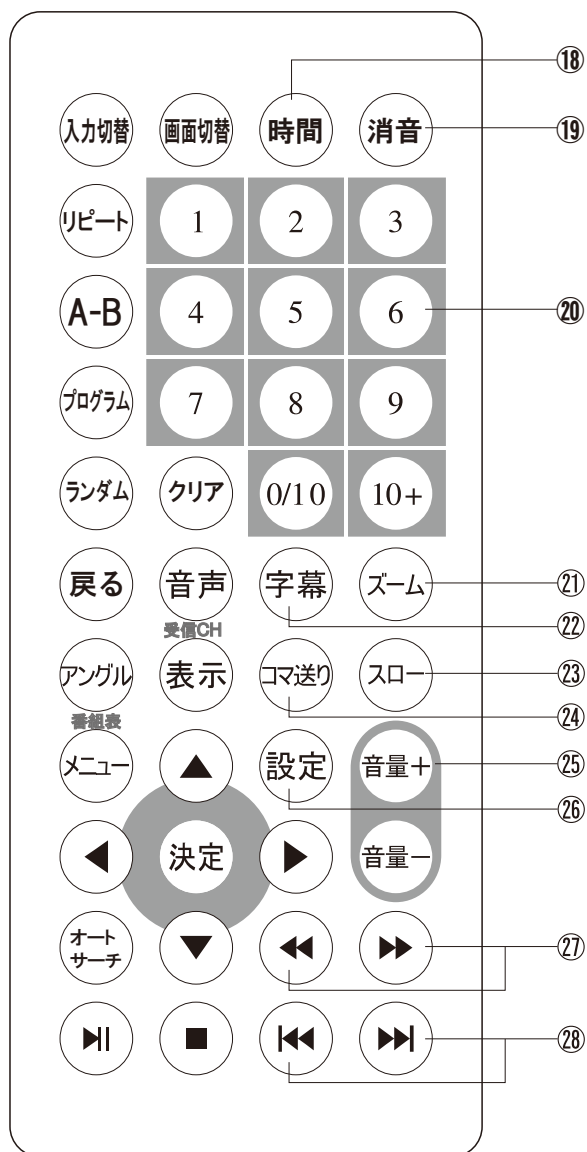
⑯再生/一時停止ボタン

再生や一時停止を行います。

⑰停止ボタン

再生中に押すと再生を停止します。

リモコンの使用方法



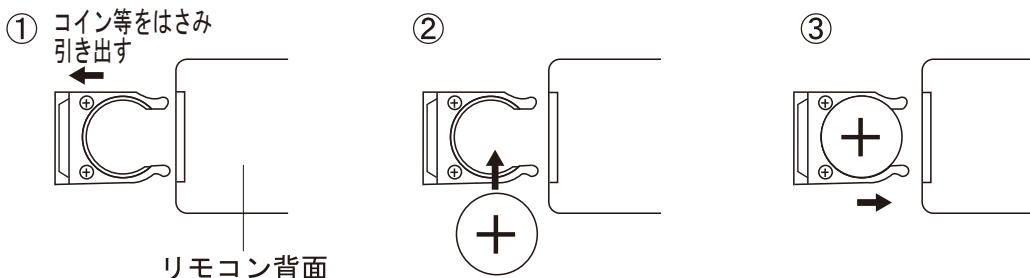
- ⑱時間ボタン
ディスクの再生中に押すと、経過時間や
チャプター等の情報を表示します。
- ⑲消音ボタン
ディスクの再生中、音声を消します。
- ⑳数字ボタン
場面や曲の番号を直接入力する場合に
使用します。
- ㉑ズームボタン
再生中に押すと画面の倍率が変化しま
す。
- ㉒字幕ボタン
字幕を切替える時に使用します。
- ㉓スローボタン
スロー再生をします。
- ㉔コマ送りボタン
ディスクの再生中コマ送りを行います。
- ㉕音量＋ボタン
音量＋を押すと音量が大に、音量－を押
すと音量が小になります。
- ㉖設定
設定画面を表示します。
- ㉗早送り/巻戻しボタン
ディスクの再生中、早送り/早戻し再生を
行います。
- ㉘スキップ送り/スキップ戻しボタン
ディスクの再生中に押すと、次もしくは前
のチャプターを再生します。

リモコンの電池交換の方法

■準備

- ①電池ホルダーのツメを押しながら引き出します。
- ②電池ホルダーに電池をセットします。(プラス極がリモコン背面側に来ます。)
- ③電池ホルダーを戻します。

※付属のリモコン電池はテスト用ですので、早めに新品と交換してください。
(CR2025 (3V) のボタン電池 1 個を使用します。)



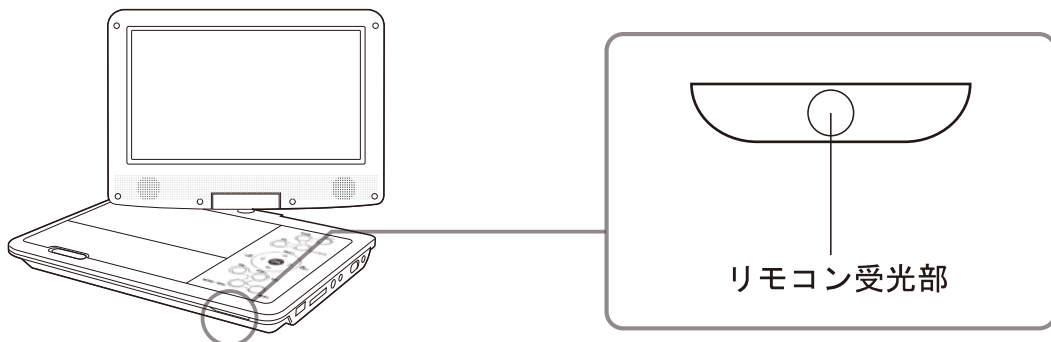
⚠ 注意事項

- リモコンを落としたり濡らしたりしないでください。
- 使用中にリモコンが効かない現象が生じた時は、電池の交換を行ってください。
- 電池が切れたらすぐに交換してください。そのまま放置すると液漏れの危険性があります。
- 液漏れした場合は、液に触れないように注意して、廃棄してください。

■使用方法

リモコン使用時はリモコン赤外線発射口を機器フロントパネルの受光部へ向けてください。受信角度は±30°、距離は4メートル以内です。

※フロントパネルの赤外線受光部に太陽光や強い光をあてないでください。正常に動作しない場合があります。



1. 電源を入れる

本体に電源を接続し、電源スイッチを「入」にしてください。

2. ディスクを入れる

本体のOPENボタンをスライドしてディスクカバーを開けディスクのラベル面を上にしてディスクをセットし、ディスクカバーを閉じます。

3. 再生の開始

カバーを閉じるとDVDのタイトル画面が表示されますので、本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶IIを押してください。再生が始まります。(ディスクによってはカバーを閉じると自動的に再生が始まります。)

4. 一時停止

再生中に本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶IIを押すと再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

5. 停止

再生中に停止ボタン■を押すと仮停止し、画面に「仮停止」と表示されます。この状態で再生/一時停止ボタン▶IIを押すと、停止した場面の続きから再生が始まり、もう一度停止ボタン■を押すと、完全に再生が停止されます。

6. 音量の調節

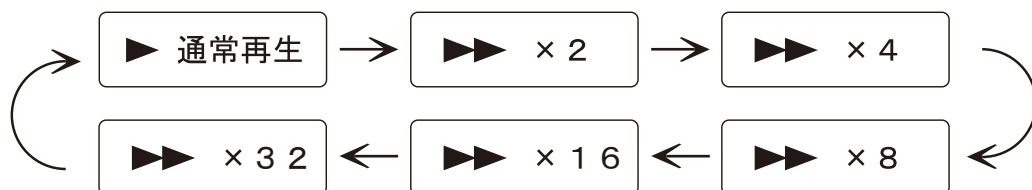
再生中、リモコンまたは本体の音量+ボタンを押すと音量が大に、音量-ボタンを押すと音量が小になります。

7. 場面のスキップ

再生中にスキップ次ボタン▶▶Iまたはスキップ前ボタン◀◀を押すと、1つ次または前のチャプターに移動します。

8. 早送り・早戻し

再生中に早送りボタン▶▶または早戻しボタン◀◀を押すと、早送りまたは早戻し再生をすることができます。
再生速度はボタンを押すごとに変わります。



9. 場面を選択して再生

リモコンのメニューボタンを押すとメニュー画面に入り、DVDの内容が画面に表示され再生するチャプターや字幕などを簡単に選択することができます。(ディスクによってはメニュー画面がない場合もあります。)

10. ランダム再生

再生中にリモコンのランダムボタンを押すと、画面に「シャッフル」の文字が表示されます。ランダム機能がオンになり、チャプターをランダム(無作為)な順番で再生します。もう一度ランダムボタンを押すと通常再生に戻ります。

11. アングルの切替

再生中にリモコンの角度ボタンを押すと映像の角度を切替えることができます。ボタンを押す回数によってディスクに記録された異なる角度の映像に切替わります。切替可能な角度の数と、再生している角度の番号が画面に表示されます。

※角度切替えは、マルチ角度で録画されたDVDのみで使用可能です。
マルチ角度のディスクかどうかはDVDディスクのジャケットやケースカバーをご覧ください。

12. 音声切替

再生中にリモコンの音声ボタンを押すと、音声を切替えることができます。音声ボタンを押すたびに、音声の言語が切替ります。切替可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から音声切替を行わなければならないものもあります。

13. 字幕切替

再生中にリモコンの字幕ボタンを押すと、字幕を切替えることができます。字幕ボタンを押すたびに、字幕の言語が切替ります。切替可能な字幕の数と再生している字幕の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から字幕切替を行わなければならないものもあります。

※字幕データが収録されていないディスクでは、この機能は使えません。

14. ズーム切替

再生中にリモコンのズームボタンを押すと、画面の表示倍率を変えることができます。ズームボタンを押すたびに、2倍→3倍→4倍→1/2→1/3→1/4→オフ（通常）の順に画面の倍率が変わります。



拡大表示中に上下左右の方向ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。

15. リピート再生

再生中にリモコンのリピートボタンを押すと、リピート再生を行うことができます。押す回数によって、チャプターのリピート→タイトルのリピート→ディスク全体のリピート→リピートオフ（通常再生）の順に切り換ります。

16. A-Bリピート再生

再生中に任意の場面を指定してリピート再生することができます。

- 1.再生中に、リピート再生したい場面の開始点でリモコンのA-Bボタンを押します。「A」の文字が表示されます。
- 2.次に、リピート再生を終了させたいポイントで、もう一度リモコンのA-Bボタンを押します。「AB」の文字が表示され、指定した箇所が繰り返し再生されます。
- 3.もう一度A-Bボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

17. スロー再生 / コマ送り再生

再生中にリモコンのスローボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。スローボタンを押すたびに、1/2→1/4→1/8→1/16→通常再生の順で再生速度が切り替わります。

また、再生中にリモコンのコマ送りボタンを押すと、コマ送り再生を行うことができます。コマ送りボタンを押すたびに1コマずつ進み、再生ボタンを押すと通常再生に戻ります。

18. 消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと、音声のみを消すことができます。もう一度消音ボタンを押すと再び音声が出ます。

CDの再生

本機では音楽CDを再生することもできます。音楽CDをセットしてディスクカバーを閉じると、自動的に再生を開始します。音楽CDの再生ではDVDの再生と同じボタン操作で以下の操作を行うことができます。

- 再生 ●停止 ●一時停止 ●前後スキップ ●早送り ●早戻し
- リピート再生 ●A-Bリピート再生 ●消音

CD再生時の画面表示

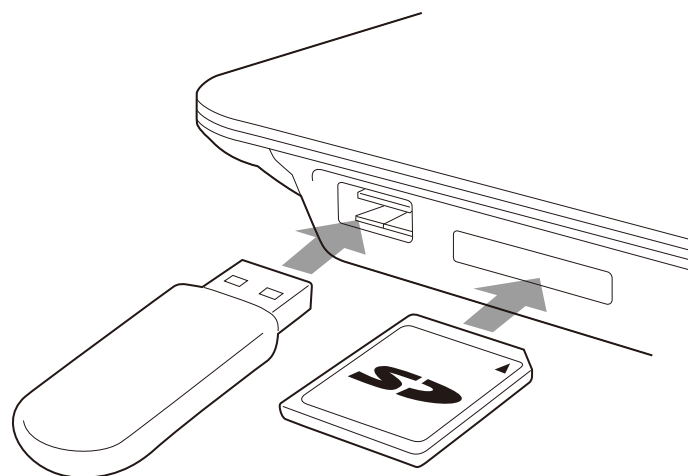
音楽CDの再生中は、トラック(収録曲)の再生時間等の情報が画面に表示されます。表示ボタンを押すごとに、シングル再生時間→シングル残り時間→トータル再生時間→トータル残り時間 の順に表示が切り換ります。



SDカード／USBメモリの使用

本体との接続

SDカードまたはUSBメモリを本体右側面のSDカードスロットおよびUSB端子にラベル面を上にしてそれぞれ接続します。

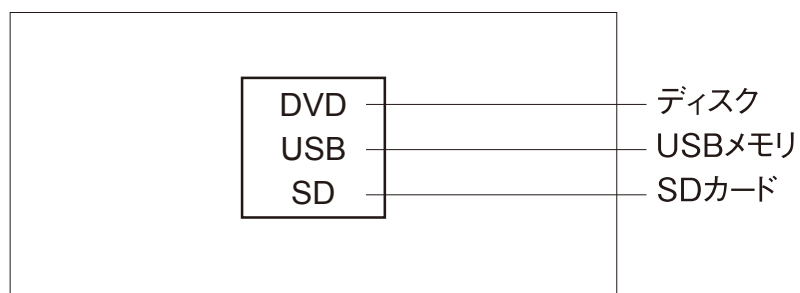


本体右側面

ディスク、SDカード、USBメモリの切替

リモコンの設定ボタンを2回押すと、下の画面が表示されます。上から、ディスク、SDカード、USBメモリの選択表示となります。本体もしくはリモコンの方向ボタン▲▼で再生したいファイルが入っているアイコンを選び、決定(OK)ボタンを押してください。選択したアイコンの画面に切替わります。

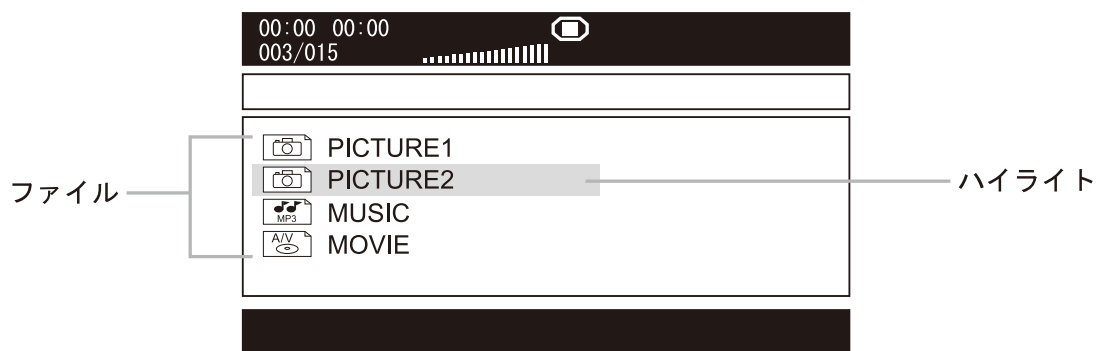
※再生中でもディスク、SDカード、USBメモリの切替えは可能です。



ファイルの再生

ファイル選択画面に、メディア内のフォルダやファイルが表示されます。
リモコンのまたは本体の▲▼ボタンでハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択し、再生一時停止ボタンを押すと、そのファイルから再生が始まります。

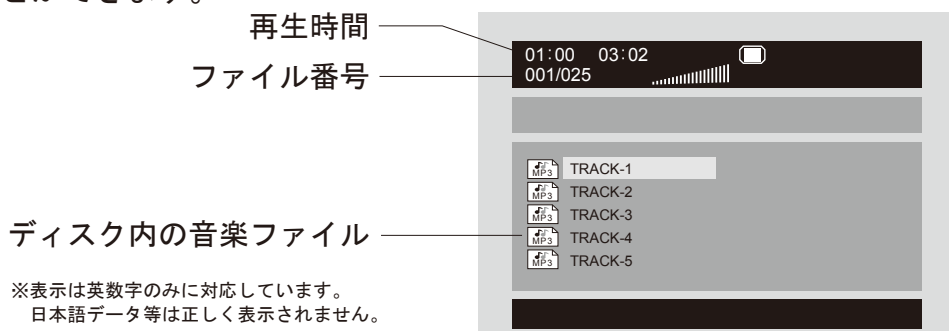
※詳しい再生方法はP22～P26をご参照ください。



ファイル選択画面

音楽ファイルの再生

本機ではMP3形式及びWMA形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



MP3形式およびWMA形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記の画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたディスクのみ使用可能です）。この画面でメディア上のファイルを選択し、再生する曲を決定します。

※音楽ファイルが再生できない場合についてはP26をご参照ください。

操作方法

● リモコンまたは本体の▲▼方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。

● 決定ボタンを押すと選択したファイルが再生されます。

● 再生中に方向ボタン▲▼を押して次に再生したいファイルを選択することもできます。その時、現在再生中のファイルは白いハイライトで示されません。

■ 音楽ファイルの再生中には次の操作を行うことができます。

- ・ 停止……………本体またはリモコンの停止ボタン■を押します。
- ・ 一時停止……………本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶||を押します。
- ・ リピート再生…リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

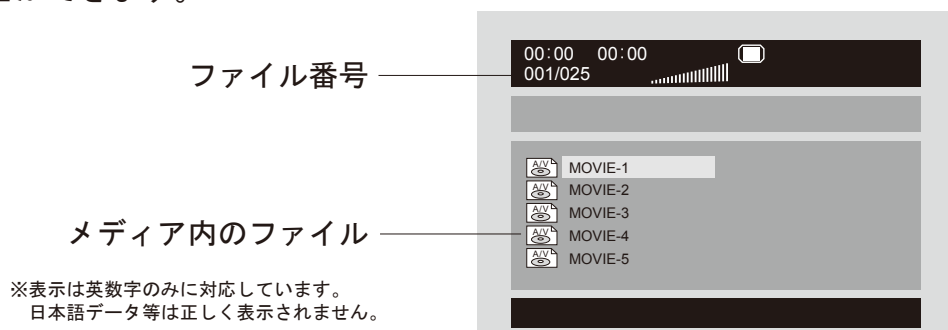
1ファイルリピート：再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

リピートオフ：通常再生に戻ります。

動画ファイルの再生

本機ではMPEG形式およびAVI形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



MPEG形式およびAVI形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記の画面が表示されます(本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です)。この画面でフォルダやファイルを選択し、再生する曲を決定します。(H.264/MPEG4 AVC形式のデータは再生できません。)
※動画ファイルが再生できない場合についてはP26をご参照ください。

操作方法

- リモコンまたは本体の方向ボタン▲▼を押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。
- 決定ボタンまたは再生/一時停止ボタン▶||を押すと選択したファイルが再生されます。
- ファイルによっては再生中にスキップボタンを押すと、前後のファイルが再生できる場合もございます。

■再生中には次の操作を行うことができます。

※対応する動画ファイルの全てにおいて操作の保証を致しかねる場合がございます。

- ・ 停止……………本体またはリモコンの停止ボタン■を押します。
- ・ 一時停止……………本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶||を押します。
- ・ リピート再生…リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

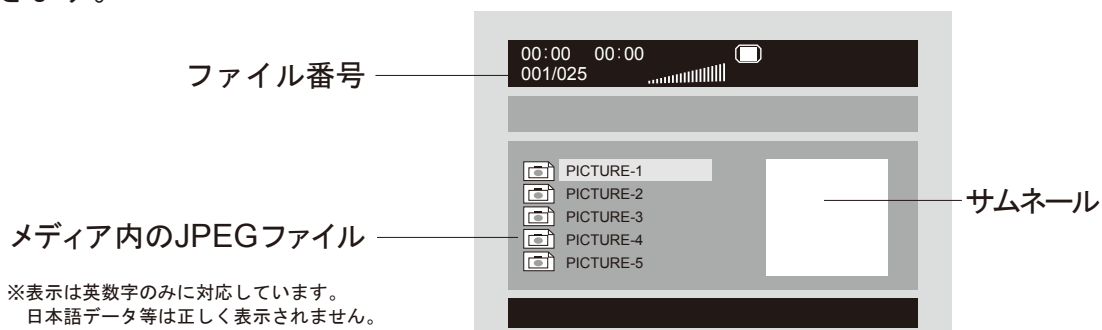
1ファイルリピート：再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

リピートオフ：通常再生に戻ります。

画像ファイルの再生

本機ではJPEG形式の画像ファイルが保存されたメディアを再生することができます。



JPEG形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記のメニュー画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です）。この画面でファイルを選択し、表示するファイルを決めます。

※画像ファイルが再生できない場合についてはP26をご参照ください。

操作方法

- リモコンまたは本体の方向ボタン▲▼を押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。右側にサムネール（小さい画像）が表示されます。
- 決定ボタンまたは再生/一時停止ボタン▶||を押すと、選択したファイルが表示されます。

■ JPEGの再生中には次の操作を行うことができます。

- ・ 停止……………本体またはリモコンの停止ボタン■を押します。
- ・ 一時停止……………本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン ▶||を押します。
- ・ リピート再生…リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

1ファイルリピート：再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

リピートオフ：通常再生に戻ります。

JPEG画像ファイルの再生

- ・ 画像の回転……スライドショーの最中にリモコンまたは本体の▶ボタンを押すと、画像が90度右に、◀ボタンを押すと90度右に回転します。
- ・ 画像の反転……スライドショーの最中にリモコンまたは本体の▲ボタンを押すと、画像が上下に反転し、▼ボタンを押すと左右に反転します。

※決定ボタンを押すと元に戻ります。

※スライドショーの最中にメニューボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

メディア／ファイルについて

■写真再生・音楽再生・動画再生について

- 写真再生は、JPEG 形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。他の画像形式のファイルや「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。※JPEG とは、静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつで、JPEG ファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。
- 画像ファイルサイズ又はファイル構造により、ディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理 (DRM) されたファイルは再生できません。※DRM とは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御・制限する技術の総称を言います。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなども DRM に含まれます。
- 音楽再生は、MP3/WMA (DRM 非対応) 形式のファイルをパソコンから転送時に、専用ソフトを使って独自の暗号化 (著作権保護) を施すもので使用されるファイルを入れた USB メモリや SD カードは本製品では再生できません。
例：アップル製「iPod シリーズ」、ソニー製「ウォークマンシリーズ」、松下電器製「D-snap オーディオシリーズ」、ビクター製「アルネオシリーズ」など
- MP3/WMA 形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- 動画再生は、MPEG2/MPEG4 の対応形式のファイルでも、すべての再生を保証するものではありません。記録条件や記録状況によっては再生できない場合があります。
- H.264/AVC 形式のファイルは再生できません。
- データ名、ファイル名の表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

■動画ファイルが再生されない場合

本製品は MPEG4、AVI の形式の動画ファイルにも対応していますが、ファイルによってはそれらの形式であっても再生できない場合があります。そのときは弊社ウェブサイトより動画変換ソフト [AVI Converter] をダウンロードしてご使用ください。再生可能になる場合があります。([AVI Converter] を使用しても再生できない場合もありますのでご了承ください。)

■ダウンロードはこちらから→ <http://www.comalliance.co.jp/avi>

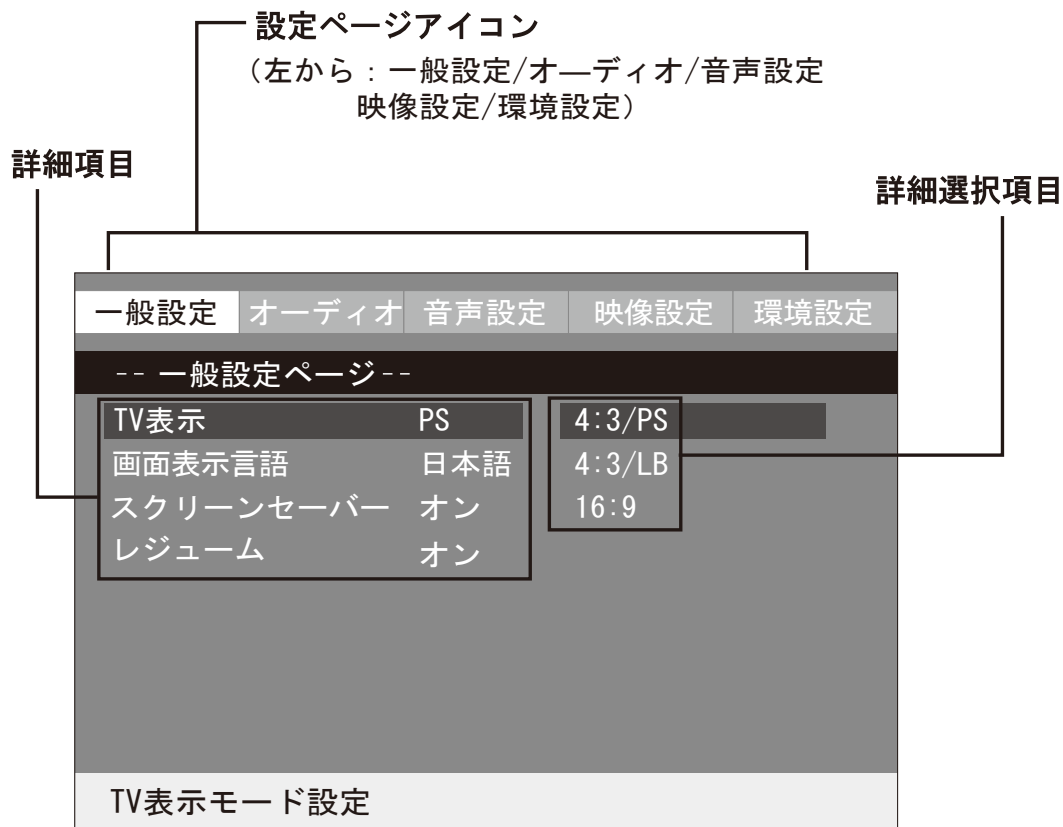
■SDカード・USBメモリについて

- すべての USB メモリ及び SD カードについての作動保証はしていません。
- 容量 8GB を超える SD カード及び USB メモリは作動保証していません。
- SD カード、USB メモリは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- マッキントッシュで編集された USB メモリ、SD カードには対応していません。

機能設定

本機では、画質や音声など、各種詳細項目を設定することができます。必要に応じて変更してください。

機能設定ページ



機能設定の方法

1. リモコンの設定ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
2. 設定ページ→詳細項目→詳細選択項目の順に選択、決定していきます。
3. リモコンまたは本体の方向キーを押して、設定を変更したいページや項目を選択をし、決定ボタンを押して決定します。
4. 設定ボタンを押して、設定を終了します。

機能設定

設定項目は下記の通りです。

設定ページ	詳細項目
一般設定	TV表示 画面表示言語 スクリーンセーバー レジューム
オーディオ	ダウンミックス
音声設定	ステレオ ダイナミック
映像設定	画質
環境設定	音声言語 字幕言語 ディスクメニュー 初期設定

一般設定

■TV表示（画面のサイズ・比率の設定）

- 1.4 : 3/PS（パンスキャン）
- 2.4 : 3/LB（レターボックス）
- 3.16 : 9（ワイド）

■画面表示言語（設定画面の言語の設定）

- 1.英語
- 2.日本語

■スクリーンセーバー

- 1.オン
- 2.オフ

■レジューム

- 1.オン
- 2.オフ

オーディオ

■ダウンミックス（ご使用のスピーカー環境に合わせた出力方式の設定）

- 1.LT/RT
- 2.ステレオ

音声設定

■ステレオ

- 1.ステレオ
- 2.左モノラル
- 3.右モノラル
- 4.ミックスモノラル

■ダイナミック

- 1.FULL
- 2.3/4
- 3.1/2
- 4.1/4
- 5.OFF

映像設定

■画質

- 1.シャープネス（高/中/低）
- 2.明るさ（-16~+16）
- 3.コントラスト（-16~+16）

環境設定

■音声言語（再生時の音声の設定）

1. 英語
2. 日本語

■字幕言語（再生時の字幕の設定）

1. 英語
2. 日本語

■ディスクメニュー（ディスクのメニュー画面の言語の設定）

1. 英語
2. 日本語

■初期設定（全ての設定を工場出荷時の状態に戻ります。）

リセット

地上デジタル放送の視聴

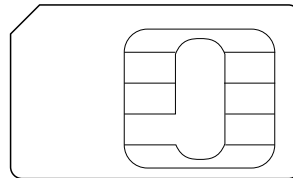
miniB-CAS カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へ miniB-CAS カード（付属）の常時挿入が必要です。
本機に miniB-CAS カードを挿入されていない場合は、デジタル放送の視聴はできません。

miniB-CAS カード



ラベル側（表）



端子側（裏）

ご注意ください

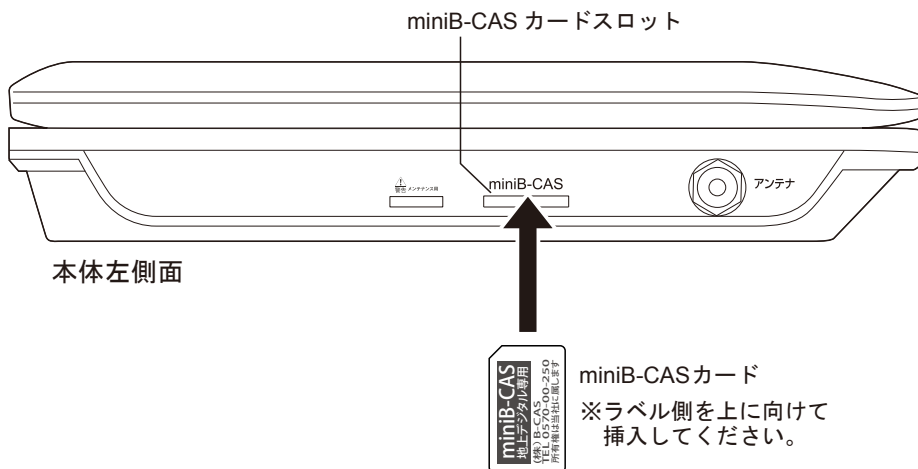
※AC アダプターが接続されていない状態で行ってください。

※SD カードスロットには、miniB-CAS カードを入れないでください。取り出せなくなります。

※miniB-CAS カードスロットには、miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

挿入の方法

- ①miniB-CAS カードを、ラベル側が上方へ向くようにし、「カチッ」と音がするまで本体左側面の miniB-CAS カードスロットへまっすぐ押し込んでください。
- ②miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐ引き出してください。
※miniB-CAS カードの挿入 / 取出しをする時、急に指を離さないでください。



※miniB-CAS カードの取り扱いにつきまして詳しくは、miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。

※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などの問い合わせは
株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CAS カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

地上デジタル放送の視聴

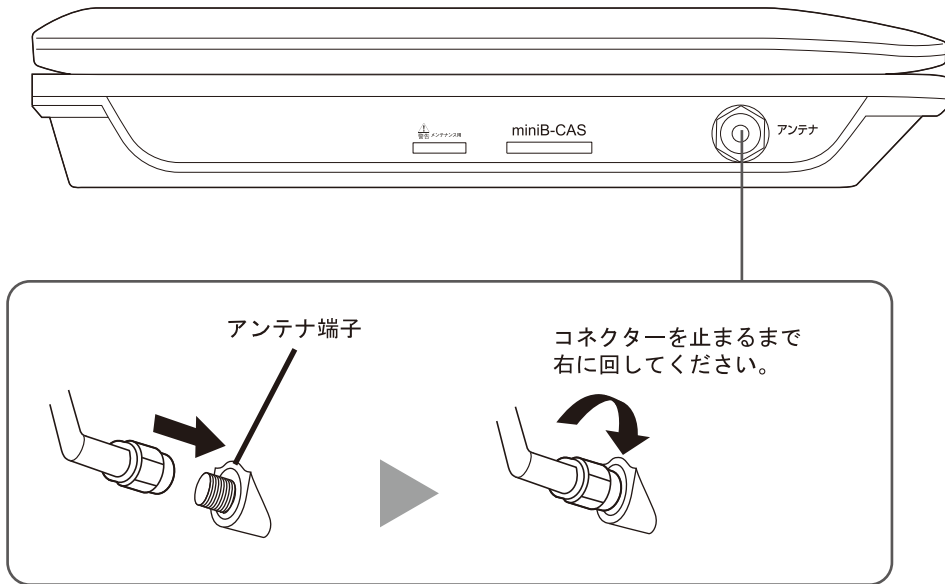
アンテナの接続

本機左側のアンテナ端子に、TV アンテナ（付属品）の端子部を接続してください。

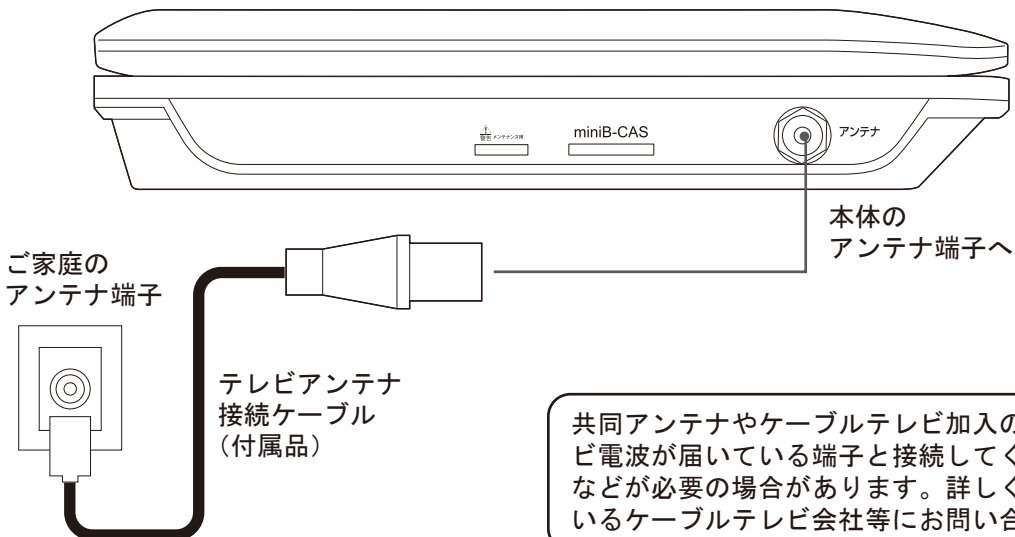
※電波を受信しやすい場所（室内でご利用の場合は窓際近くなど）に設置してください。

※TV アンテナを設置する際は、土台底面のマグネット部分を金属製の台等へ接触させるとアース効果により受信感度が高くなります。ジュースやお菓子の缶などの金属でもご使用できますが落下等には十分ご注意ください。

※TV アンテナに無理な力を加えないでください。



●映像が乱れるまたは電波の弱い場合、屋外 UHF アンテナを接続してください。



地上デジタル放送について

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。
屋内でご使用される場合は、付属の変換コネクタを使って地上デジタル用アンテナへ接続して高画質の地上デジタル放送を、外出先で使用される場合にはワンセグ放送を、お好きな場所で放送を受信してテレビ番組が楽しめます。
※地上アナログ放送、BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。

ワンセグ放送について

「ワンセグ」とは、日本国内の地上デジタルテレビジョン放送規格であるISDB-T (Integrated Services Digital Broadcasting-Terrestrial) を利用した携帯端末向け地上デジタルテレビジョン放送サービスの名称です。

ISDB-Tは、家庭に置かれているテレビ（固定受信機）以外に、カーナビなどの動体端末や携帯電話やPDAなどの携帯端末も受信対象として考慮された技術規格です。

ワンセグ放送と地上デジタル放送の違い

ISDB-Tでは、帯域幅約429kHzを1単位とし、それを「セグメント」と呼びます。13個のセグメントを組み合わせた帯域幅（約5.75MHz）を一つのチャンネルに割り当てています。

現在、サービスが始まっている家庭用のデジタルテレビで受信できる地上デジタルテレビジョン放送は、この13セグメント中の12セグメントを使って番組を配信しています。

ワンセグ放送サービスは、この1チャンネル約6MHzの帯域幅の13セグメントの内、1セグメントを利用して映像・音声・データを放送する地上デジタルテレビジョン放送の一部の放送サービスです。

※「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアにつきましては下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会 URL : <http://www.dpa.or.jp>

■テレビを見るには■

テレビ放送画面への切り替え、およびテレビの視聴・操作・設定は、すべて付属リモコンで行います。この取扱説明書では、主にリモコンを使用した場合の使用方法を説明します。

1. テレビ画面への切替え

本体またはリモコンの機能切替ボタンを押すとメディア選択画面が表示され、「TV」を選択すると黒いモニターに[Loading...]の画面が表示されます。(数秒後消えます。)


2. チャンネル検索

- はじめて使用する時や、受信できる放送局（電波地域）が変更になった場合は、リモコンの「オートサーチ」ボタンを押して本機へ受信できるチャンネルを登録する必要があります。
- チャンネル検索が終わるとテレビ放送が表示されます。
 - ※電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグ放送のいずれかが表示されます。
 - ※チャンネルスキャンを行いますと、今までに登録していた放送局は上書きされて消えてしまいますのでご注意ください。
 - ※屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。場所を変えてお試しください。
 - ※本機は自動受信設定時は、地上デジタル放送（フルセグ）受信が優先設定になっていますが、受信状況が不安定になるとワンセグ放送に自動的に切り替わります。その際一時映像と音声は停止しますが故障ではありません。
- 電波を受信すると、画面上部に数秒間情報バーが表示されます



 多重音声受信時に表示されます。

 字幕放送受信時に表示されます。

 電波状況表示：アンテナ本数表示（5本まで）が多いほど、受信状況は良好です。

■基本操作■

1. チャンネルを選択する

リモコンの「▲」「▼」ボタンを押します。



2. 音量を調整する

リモコンの「音量+」「音量-」ボタンを押します。



3. 音声多重切替え

ステレオ音声で二ヶ国語を切替えます。

リモコンの「音声」ボタンを押します。

※放送内容や番組によって無効になる場合があります。



4. 字幕放送

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなどを表示されます。

リモコンの「字幕」ボタンを押します。



5. 番組表

番組の情報が表示されます。

1. リモコンの「番組表」ボタンを押します。

2. リモコンの▲▼ボタンで番組を選び、「決定」ボタンを押します。

3. リモコンの「戻る」ボタンを押すと前の画面に戻ります。

番組表



6. チャンネルリスト

チャンネルで登録された放送局のリストが表示されます。

1. リモコンの「受信CH」ボタンを押します。

2. リモコンの「◀」・「▶」ボタンでワンセグ・地上デジタル放送のリストを切替えます。

3. リモコンの「▲」・「▼」ボタンでチャンネルを選び、「決定」ボタンを押します。

4. リモコンの「戻る」ボタンを押すとテレビ画面に戻ります。

受信CH



地上デジタル放送の視聴

■放送設定■

受信方法設定 / 言語 / デバイス情報 / パスワード変更 / 工場初期化の 5 種類の設定・確認をします。

1. リモコンの「設定」ボタンを押します。
2. リモコンの「選局+」・「選局-」ボタンで項目を選び、「決定」ボタンを押します。
3. リモコンの「戻る」ボタンを押すと前の画面に戻ります。

- 受信方法設定：ワンセグ優先 / フルセグ優先（地上デジタル放送） / 自動
- 言語：英語 / 日本語
- デバイス情報：システム情報を表示されます。
- パスワード変更：
パスワードを変更します。（現在パスワードは 111111 です。）
- デバイス情報：システム情報が表示されます
- 工場初期化：
工場出荷時の状態へ戻ります。（パスワードの入力が必要になります。）

■画面サイズの切替え■

ワンセグ放送視聴時に、お好みに合わせて画面サイズを切替えることができます。リモコンの「画面切替」ボタンを押して、16 : 9 画面と 4 : 3 画面を切替えます。



画面切替

「画面切替」ボタン

●注意事項(ご確認下さい)

「映像が止まる」「音が出ない」「音声が途切れる」等の受信が安定しない場合がございます。その場合は下記事項をご確認下さい。

電波をさえぎる物の近くでご利用ではないですか？

電波受信状況(アンテナマーク)のレベル(最大4本)が安定する場所に移動して下さい。または、チャンネル検索リモコンのオートサーチを、再度お試し下さい。(一度受信した放送が長時間安定する保証はございません)

※以下の場合・形式では受信できません。

- ・デジタル放送が開始されていない地区・地域
- ・ハイビジョン地上デジタル放送、地上アナログ放送。
- ・データ放送、緊急警報放送

※CATV(ケーブルテレビ)の受信は、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続やご利用方法については機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。

※デジタル放送では受信状態が悪くなると音声が途切れたり、画面が止まったり、またはブロックノイズが出たりすることがあります。移動中に受信するときは、静止中の受信に比べ受信エリアが狭くなり、場所や位置により受信しにくくなる場合があります。

※建物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の近辺、電波障害を受けやすい場所、等の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。

※アンテナが正しく接続されていない場合。

※放送エリアのめやすは、社団法人デジタル放送推進協会ホームページをご参照下さい。(<http://www.dpa.or.jp>)

※その他の症状が見られる場合は、本書巻末のトラブルシューティングをご参照下さい。



トラブルシューティング

まず下表でご確認ください。修理に出す前にもう一度、取扱説明書をお読みになってください。

故障状況	原因および解決方法
電源が入らない	●電源プラグが抜けている ⇒電源プラグをコンセントへ差し込む
	●各種コードが正しく接続されていない。 ⇒接続を確認する
音が出ない	●音量が最小になっている ⇒本体側およびリモコンで音量を調整する
	●消音機能を使用している ⇒リモコンの消音ボタンで機能を解除する
	●イヤホンを差し込んでいる ⇒本機からイヤホンを抜く
映像の映りが悪い	●映像設定の調整が正しくない ⇒映像の調整を正しく行う
画面に斑点が映る、 画面に色の縞が出たり、色が消える	●高圧線や自動車、ネオン、電機製品からの電波障害が起きている。 ⇒電波の影響を受けない場所に本機を移動する
リモコン操作できない	●リモコンの電池が消耗している ⇒電池を交換する
	●リモコンの電池の極性が逆になっている ⇒電池のプラスマイナスを正しく入れる
	●リモコンの電池が押え金具の上にセットされている ⇒電池を押え金具の下にセットする

トラブルシューティング

まず下表でご確認ください。修理に出す前にもう一度、取扱説明書をお読みになってください。

故障状況	原因および解決方法
リモコン操作できない 「  」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン信号が本体受光部に当たっていない可能性がありますので、リモコンを正しく向けて下さい。 ● 画面に「」と表示される場合は、そのディスクでは操作できない操作をしている可能性があります。
DVDレコーダーで記録したDVD-Rディスクが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオモードまたはCPRM形式で録画したDVD-Rディスクを本機で再生するには、ファイナライズ処理が必要です。 ● ディスク記録時の安定度・状況・環境により、再生できない場合があります。 ● 録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合もあります。 ● パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合もあります。
ディスクの読み取りができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っているか確認してください。 ● ディスクが反対に入っていないか確認してください。 ● ディスクと機器の地域コードが違っていませんか？ ● ディスクのフォーマットが違っていませんか？ ● 該当ディスクが損傷または汚れている可能性があるため、ディスクを換えるか、またはディスクをクリーニングしてください。
再生中に電源が落ちる	<ul style="list-style-type: none"> ● 2層式記録ディスク再生折返し部分の仕様による場合があります。電源が落ちたチャプターの次のチャプターから再生できる場合がありますので、チャプター選択画面から指定して再生を続けて下さい。
再生中、一時的に映像が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生しているディスクにキズや汚れがある可能性があります。本書「はじめに」記載のディスクの取扱い方をご参照下さい。
CDが正しく再生されない CDの曲頭数秒が再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ● コピーコントロールCDの可能性がございます。弊社では再生保証を致しかねます。
選曲できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク・USBメモリー・SDカードによっては、部分的に設定された再生順序を変更できないものがあります。

トラブルシューティング

まず下表でご確認ください。修理に出す前にもう一度、取扱説明書をお読みになってください。

故障状況	原因および解決方法
CD／CD-R／DVD／DVD-R MP3ディスク／ USBメモリー／ SDカード／ の 再生ができない、音が出ない、 雑音がある、音とびがする、 映像が正しく表示されない 等	<ul style="list-style-type: none"> ● システム接続が正しいか確認してください。 ● ディスクにキズがついていませんか？ ● 本機非対応の仕様のデータである可能性がございます。本書「メディア／ファイルについて」をご参照下さい。 ● メーカー各種記録媒体との相性により、再生できない場合がございます。 お手数ですが記録媒体を変えてお試し下さい。 (国産・国内メーカー産をお薦め致します)
デジタル放送が 受信できない／ 受信できないチャンネルがある／ 音が出ない／音声が途切れる／ 映像が止まる／ノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナは正しく接続されていますか？ ● 周囲に電波がさえぎられるものはありますか？ 電波受信状況が安定する場所に移動して下さい。 ● ワンセグ放送受信地域内で使用されていますか？ ● 本機ご利用の場所が、その地域が受信可能の放送局地域になっていますか？
視聴中の 映像／文字情報／ 番組内の時刻表示 がズレる	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル放送特有の現象です。 デジタルデータの受信形式のため、受信してから映像化されるまでの時差によって数秒ズレる場合がございます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 特典ディスク等の特殊な再生機能が施されているディスクにおいては、再生できない場合があります。また、再生できても、キー・コマンド・選択等ができない場合や、リモコンや本体のボタン等が反応しない場合もございます。 ● 各種症状にて故障と思った場合は、一度、本機の電源スイッチをOFFにして放電してのち、再度電源を入れて各種解決方法をお試し下さい。
読み込み中に電源が落ちて、 何の操作も反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機主電源が入った待機状態での常設などで、本機に電機が帯電している可能性がございます。本機の主電源を手動で切ったあと、電源コンセントを抜いて2～3時間放置して放電してください。その後、再度本機を設置してお試し下さい。 (日頃ご利用にならない際は、本機アダプターはコンセントから外すようお願い致します。)

液晶パネルについて

液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

ブロックノイズについて

- ・DVDプレーヤーの演算処理能力を超えるとときにブロックノイズが発生する場合があります。
- ・ブロックノイズはDVDの映像記録方式（MPEG）の性質上、完全に除去することは非常に困難です。
- ・また、DVDディスクの記録面に傷や汚れがある場合、またはピックアップレンズが汚れている場合にもブロックノイズが発生します。ディスクやレンズの汚れは市販のディスククリーナーやレンズクリーナーを使用して対応していただけますようお願い致します。

コピーコントロールCDについて

- ・CCCD（コピーガード付きCD）は、CDの標準規格に合致しませんので、弊社では再生保証を致しかねます。
- ・CCCDの再生に支障がある場合はお手数ですが、ディスクの発売元にお問い合わせいただけますよう、お願いいたします。
- ・また、標準規格外のディスクを再生し、その結果故障や不具合が発生した場合は保証期間内でも有償修理になります。何卒ご了承ください。

免責について

- ・お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、またその他の不具合等を含め、本製品の使用によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責を負いません。
- ・当社が関与しない各種機器との組み合わせによる誤作動から生じた損害に関しまして、当社は一切その責を負いません。
- ・本取扱説明書の記載を守らないことによる損害や事故に関しまして、当社は一切その責を負いません。あらかじめご了承ください。

製品仕様

液晶パネル	9インチTFT液晶
解像度(画素数)	800(水平)×480(垂直)
電源	ACアダプター AC100V-240V 50/60HZ
消費電力	18W
受電バッテリー容量	1800mAh(充電:約4時間、ディスク再生:約3時間、テレビ視聴:2.5時間)
地上デジタル放送受信	受信周波数(UHF放送13~62ch) ※ワンセグ放送対応
入出力端子	外部入出力、イヤホン、SDカードスロット、USB端子、アンテナ端子、miniB-CASカードスロット
信号形式	NTSC
対応ディスク	DVD、DVD-R、CD、CD-R、USBメモリ、SDカード(SDHC 8GBまで)
再生可能フォーマット	ビデオモード、VRモード、AVI MPEG1、MPEG2、MPEG4、MP3、JPEG
本体サイズ/重量	240(W)×170(H)×40(D)mm/約900g

※ 本製品は改良のため、予告なくデザイン仕様などが変更になる場合があります。